



私のふるさと

こころの故郷

— 柳本 —

徳地 恵男

私のふるさは、天理市柳本町です。天理市と桜井市の境にある小さな町です。

昨年 11 月、ならやまの月例研修会で龍王山に登りました。そのスタート地点が JR 柳本駅でした。駅からまっすぐ東への通りには、昔「柳本商店街」として薬局、魚屋、傘屋、駄菓子屋などがありました。今は民家が変わっています。上ツ道(上街道)を通過して、民家が途切れる北側に池があり黒塚古墳が見えます。1998 年、この古墳から画文帯神獣鏡と三角縁神獣鏡 33 面が発掘され一躍有名になりました。石室や副葬品が作られた当初の姿をとどめ、見学者の列が柳本駅まで続きました。私の子供の頃の『くろづか』は友達との遊び場でした。チャンバラごっこや基地あそび、ザリガニ釣りなど、走り回って遊んだ小山の下にたくさんの宝物が埋もれていたことが不思議です。



黒塚古墳のすぐそばに母校の柳本小学校があります。創立明治 7 年の歴史のある小学校です。当時の校舎の一部は『ごてん』と呼ばれ、柳本藩で使われていた「表向御殿」が校舎として使われていました。中は暗く、廊下がキュッキュッと鳴つたのを覚えています。今は校舎がすべて建て替わりました。登下校時には地域の方がたくさん立って子供たちを見守る体制ができています。地域と共にある学校づくりを目指している様子が伝わっ

てきます。

柳本小学校から東に進むと正面に行燈山古墳あんどんやまがあります。ヤマト王権の創始者といわれる第 10 代崇神天皇の陵墓で、全長 242m の巨大な前方後円墳です。その堤からは西に向かって大和平野が一望できます。二上山から信貴山に続く低い山並みに沈む夕日が空一面を真っ赤に染める時の美しさは格別です。日暮れまで遊んで家路を急いだ日々が懐かしいです。



さらに山裾まで歩いていくと長岳寺があります。山門近くにある天理市トレイルセンタ

ーは山の辺の道の中継点になっています。長岳寺は弘法大師のお寺で、桜や平戸つつじ、かきつばた、もみじなど四季折々の花が楽しめる美しいお寺です。日本最古の鐘楼門や玉眼を使用した仏像も知られています。長岳寺ではシイの実をよく拾って食べました。小学 4 年の時もみじの木にとまっていたセミの幼虫を見つけました。大事に家に持ち帰って背が割れて羽化する瞬間をじっと見た思い出があります。セミは殻から体を出し、しわのよった羽が伸びてきて白く輝いていました。クマゼミかなと期待したのですが、だんだん羽は茶色に変わりました。いのちが生みだされる瞬間を初めて見たときどきした時間は今も心によみがえります。私の子供の頃の生活は、野や山、川や池など自然が相手でした。今活動させてもらっている「ならやま」は私の子供時代につながる懐かしさがあります。野山を活動の場として仲間と一緒に気持ちのいい汗を流し、たき火に当たったりお日様の下で昼ご飯を食べたりできるのはこの上ない貴重な時間になっています。

長岳寺から登って龍王山頂(586m)近くの展望台から大和平野が一望できました。眼下をたどっていくと真下に私のふるさと柳本が見えました。柳本はいつまでも私のこころの故郷です。